



色丹島 プチガイド

【マタコタン】

穴澗と斜古丹の間に位置する景勝地。



【穴澗湾】

湾内は波が非常に穏やかで、周りも美しい緑に囲まれている。



【穴澗港】

2012年から供用を開始した岸壁。
四島交流船が直接接岸できるようになった。



【水産加工場】（穴澗）

ギドロストロイ社が新工場を建設、2020年9月落成。
主にスケソウダラ、サバ、イワシを加工。



【斜古丹湾】



【斜古丹日本人墓地】

見晴らしのいい高台に位置する。



【イネモシリ日本人墓地】



【イネモシリ】

色丹島を代表する景勝地。地名の由来はアイヌ語の「四つの小島が見える海岸」から。

～色丹島はこんなところ～

面積は248.93 km²。鹿児島県徳之島(約248 km²)とほぼ同じ。
国後・色丹・歯舞合わせて「南クリル地区」と呼ばれており、人口は11,885人(2020年)。うち約3,000人が色丹島に暮らす(終戦当時1,038人)。納沙布岬からの距離は73.3km。

地勢…島全体が緑に覆われ、なだらかな丘陵と深い静かな入り江が織り成す美しい風景は、まるで大きな箱庭のようである。
一番高い山は斜古丹山(413m)。森林は少なく笹や高山植物に覆われ、熊やマムシはいない。

水産加工業…穴澗のギドロストロイ社工場でスケソウ、サバ、イワシ等の冷凍加工、斜古丹のオストロブノイ社工場で缶詰等が生産されている。

農業…農業に適しているとはいえ難しく、農業形態は個人農園や「ダーチャ」という農園付簡易別荘での野菜作りが中心だが、近年作付面積は減少傾向にある。